

社

第 1 日
社 会

(10:40~11:30)

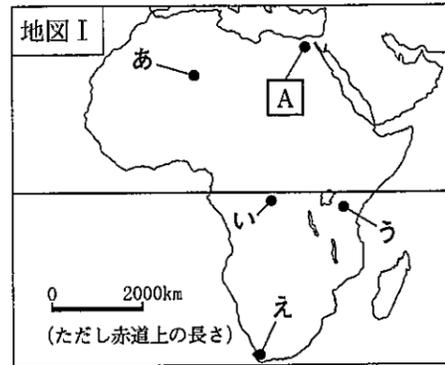
注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから14ページに、問題が1から4まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

1 ある学級の社会科の授業で、「観光に注目して自然環境と人々の生活との関わりについて考える」というテーマを設定し、班ごとに分かれて学習することにしました。あとの1～3に答えなさい。

1 太郎さんの班では、アフリカの主な観光地について調べ、次の資料Ⅰ・Ⅱと地図Ⅰを見付けました。下の(1)・(2)に答えなさい。



資料
ピラミッドの写真

(1) 資料Ⅰは、草原地帯に生息する野生動物とその姿を観察する観光客の様子を撮影したものです。地図Ⅰ中の地点あ～えのうち、この写真が撮影された場所として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

(2) 資料Ⅱに関して、太郎さんは、この写真が地図Ⅰ中の地点Aで撮影されたことを知り、さらにこのピラミッド付近の様子を調べて右の資料Ⅲを見付け、この付近で人々が生活していることに気がきました。太郎さんは、このことについて資料Ⅱ・Ⅲと地図Ⅰを基に、次のようにまとめました。太郎さんのまとめの中のaとbに当てはまる語はそれぞれ何ですか。下のア～エの組み合わせのうちから最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

資料
ピラミッドの写真

太郎さんのまとめ
ピラミッドの付近は、a 気候にも関わらず、資料Ⅲのように植物が見られ、人々が生活できるのは、b の水を利用することができるためと考えられる。

- ア [a 地中海性 イ [a 地中海性 ウ [a 砂漠 エ [a 砂漠
 b コンゴ川 b ナイル川 b コンゴ川 b ナイル川

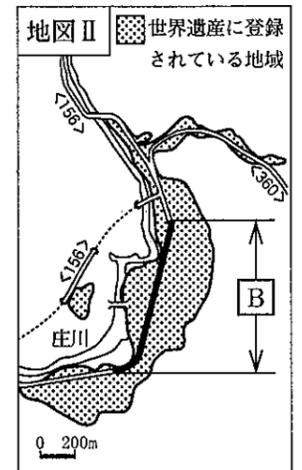
2 咲子さんの班では、日本の主な観光地である岐阜県白川村について調べました。次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 右の資料Ⅳは、白川村の伝統的な住居を撮影したもので、豪雪地帯であるこの地域の自然環境に対応して、屋根の傾斜を急にするなどの工夫が行われています。このほかに日本の国内において、厳しい冬の気候に対応した住居の工夫にはどのようなものがありますか。次のア～エのうちから最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。



- ア 玄関や窓が二重になっている。
イ 移動式のテントが、動物の毛皮で作られている。
ウ 日干しれんがをつくり、それを積み上げて壁をつくっている。
エ 屋根の瓦をしっかりと止めている。

(2) 右の地図Ⅱは、白川村で世界遺産に登録されている地域を示しています。白川村では、地図Ⅱ中の道路のBの区間において、2009年からある取り組みが行われています。下の資料Ⅴ・Ⅵは、その取り組みが行われる前とそれ以降のBの区間内の通りの様子を撮影したものです。これらの写真の様子から、Bの区間ではどのような取り組みが行われていると考えられますか。簡潔に書きなさい。



ある取り組みが行われる前の様子



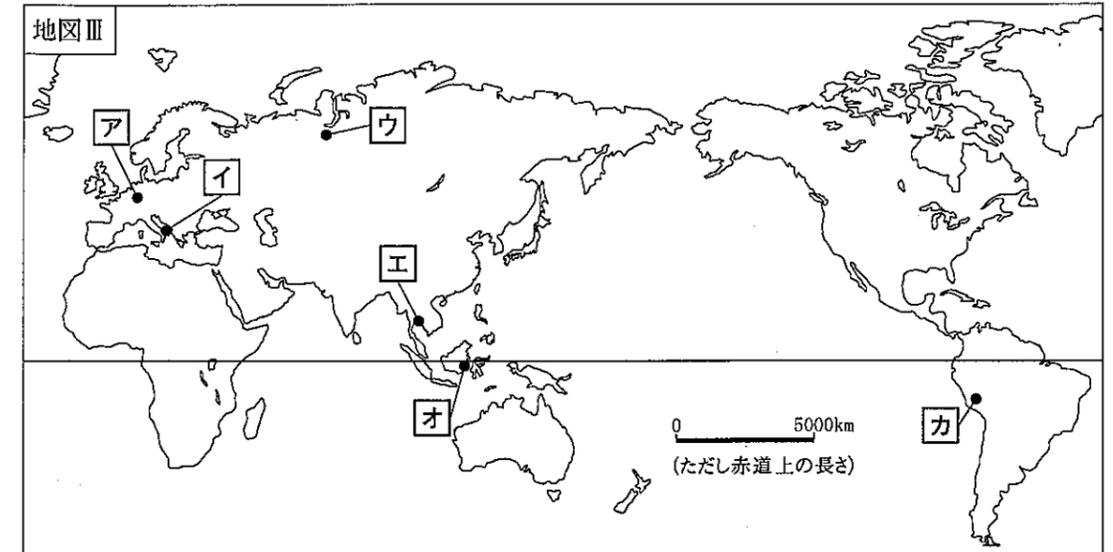
ある取り組みが行われ始めてからの様子

3 次郎さんの班では、世界各地の人々の暮らしの特色を知るために、インターネット上で世界を巡る観光ツアーの企画を提案することにし、次の「ア」～「カ」の資料を集めました。これらの資料は、それぞれあとの地図Ⅲ中に同じ記号で示された場所で撮影されたものです。あなたならどのような提案をしますか。あとのツアーの提案書を、条件1～3に従って完成しなさい。

ア トーリア大聖堂の写真

イ アルベロベッコの
トゥルツリの写真

ウ トナカイとともに
暮らす人々の写真



- 条件1 テーマ中の「X」には、衣服、住居、宗教のうち、いずれかを書くこと。
 条件2 訪れる場所〈1〉・〈2〉には、「ア」～「カ」の場所のうち、このツアーのテーマに当てはまるものをそれぞれ選び、その記号を書くこと。
 条件3 暮らしの特色〔1〕・〔2〕には、条件2で選んだ場所で撮影された資料について、このツアーのテーマに沿って、人々の暮らしの特色をそれぞれ書くこと。

ツアーの提案書	
テーマ	私は、「X」に注目した人々の暮らしの特色」をテーマとしたツアーを提案します。
訪れる場所〈1〉	
暮らしの特色〔1〕	
訪れる場所〈2〉	
暮らしの特色〔2〕	

2 下の略年表は、「日本の経済の主なできごと」についてまとめたものです。あとの1～4に答えなさい。

日本の経済の主なできごと	
8世紀～10世紀	①708年に和同開珎が発行されるなど貨幣が発行され、使われた。
11世紀～12世紀半ば	貨幣の流通が途絶え、米や絹・布が貨幣として使われた。
12世紀半ば～16世紀	②中国の貨幣が流入し、使われた。
17世紀～19世紀前半	金貨・銀貨・銅貨が発行され、③貨幣を用いた経済活動が全国に広がった。
19世紀後半以降	「円」を単位とする貨幣制度が整えられ、紙幣も発行され、使われるようになった。④1882年、日本の中央銀行である日本銀行が設立された。

1 下線部①に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 日本で発行された和同開珎は、次のア～エのうち、どの国の貨幣にならってつくられましたか。その記号を書きなさい。

ア 秦 イ 隋 ウ 唐 エ 元

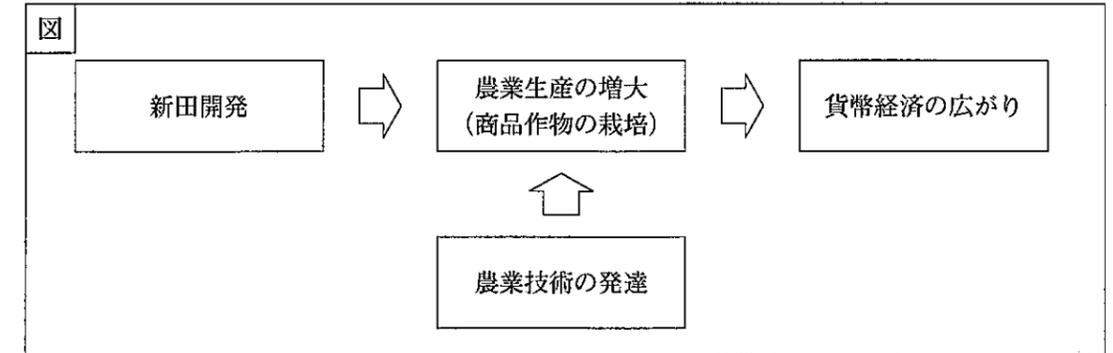
(2) 次のア～エのうち、和同開珎が発行されたころの日本の様子について述べた文として、最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 稲作とともに鉄器や青銅器の製造法が伝わった。
- イ 国ごとに国分寺と国分尼寺の建設が命じられ、都には東大寺が建てられた。
- ウ 国ごとに守護が置かれ、荘園や公領ごとに地頭が置かれた。
- エ 信仰によって結び付いた武士や農民が、守護大名を倒して自治を行った。

2 下線部②に関して、次の文章は当時の日本と中国で行われた貿易について述べたものです。文章中の□に当てはまる語は何ですか。その語を書きなさい。なお、文章中の2か所の□には同じ語が当てはまります。

室町幕府の足利義満は、幕府の財源を豊かにするため、明から銅銭とともに生糸、絹織物などを輸入し、日本から銅や硫黄などを輸出する貿易を行った。その際、国と国との貿易であることを確認するため □ とよばれる証明書を用いたことから、この貿易は、□ 貿易とよばれた。

3 下線部③に関して、江戸時代になると、農村でも貨幣を用いた経済活動が行われるようになりました。次の図は、このころの新田開発と貨幣経済の広がりとの関連についてまとめたものです。下のア～エのうち、図中の農業技術の発達の具体例として適切なものはどれですか。二つ選び、その記号を書きなさい。



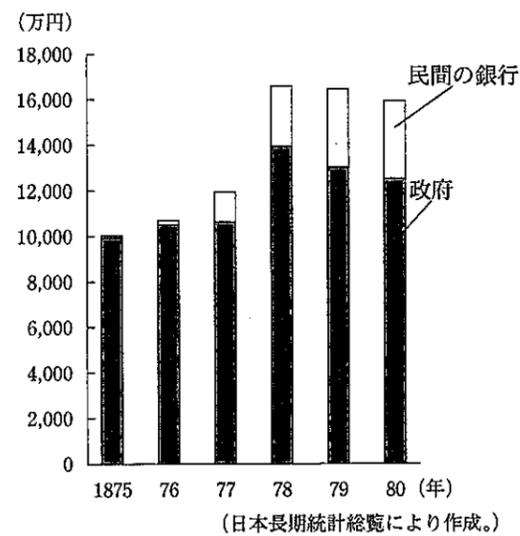
- ア 同じ田畑で米と麦を作る二毛作が行われるようになった。
- イ 脱穀のために使われる千歯こきが発明された。
- ウ 肥料として草木の灰や牛馬のふんや堆肥が使われるようになった。
- エ 干したイワシが肥料として取り引きされ、使われるようになった。

4 下線部④に関して、次のレポートは、日本銀行が設立された理由について、下のグラフⅠ・Ⅱと資料を基にまとめたものです。レポート中の **a** と **b** に当てはまる語はそれぞれ何ですか。下のア～エの組み合わせのうちから適切なものを選び、その記号を書きなさい。また、レポート中の **c** には、どのような内容が当てはまりますか。グラフⅠ・Ⅱを踏まえて、簡潔に書きなさい。

レポート
 政府は、西南戦争の戦費を、政府の発行する紙幣と民間の銀行の発行する紙幣を増やすことでまかなった。このことによって、市場に出回る紙幣の量が増え、紙幣の価値が **a** ため、激しい **b** が起きた。そこで、日本銀行を設立することによって **c** を図ろうとしたと考えられる。

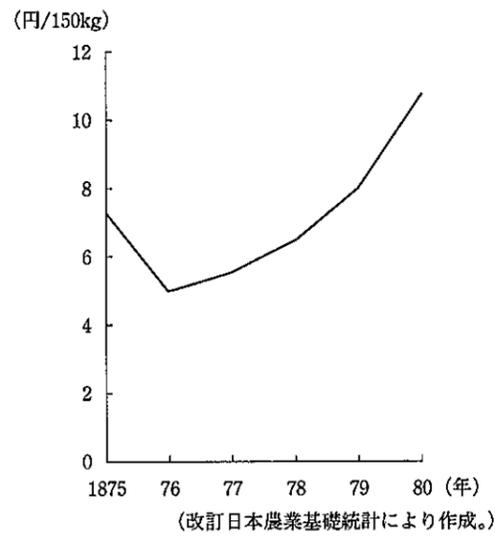
グラフⅠ

紙幣の発行高の推移



グラフⅡ

米価の推移



資料

1877年 政府は西南戦争を鎮圧した。
 1878年 政府は西南戦争の戦費をまかなうための紙幣を発行した。

- ア **a** 上がった
b インフレーション
- ウ **a** 下がった
b インフレーション

- イ **a** 上がった
b デフレーション
- エ **a** 下がった
b デフレーション

③ ある学級の社会科の授業で、「日本の地方自治の現状と課題」というテーマを設定し、班ごとに分かれて学習することにしました。あとの1～5に答えなさい。

1 太郎さんの班では、東京都に人口が集中していることに興味をもち、その理由を説明するために、右の表を作成しました。太郎さんの班は、この表を基に、東京都に人口が集中しているのは、東京都の転入超過数が他の道府県と比べて多いからだと考えました。さらに東京都の転入超過数が他の道府県と比べて多い理由を説明するために、資料を集めることにしました。どのような資料が必要だと考えられますか。次のア～エのうちから、最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

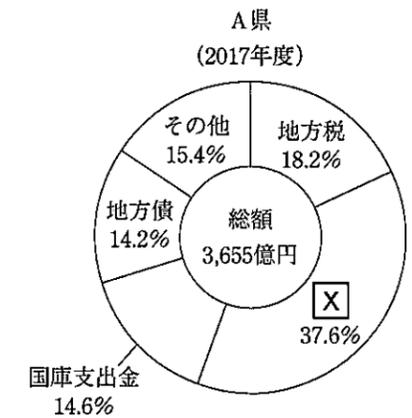
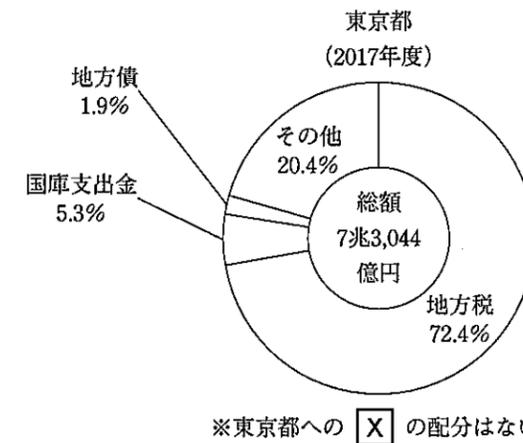
主な都道府県の転入超過数(人)
(2015年, 2016年)

	2015年	2016年
北海道	-8,862	-6,874
宮城県	-76	-483
東京都	81,696	74,177
愛知県	8,322	6,265
大阪府	2,296	1,794
広島県	-2,856	-2,136
福岡県	3,603	5,732

転入超過数：他の都道府県から住所を移して入ってくる者の数から、出ていく者の数を差し引いた数
 (総務省統計局ウェブページにより作成。)

- ア 主な都道府県の出生率と死亡率
 イ 主な都道府県の企業数と大学数
 ウ 主な都道府県の耕地面積
 エ 主な都道府県の年平均気温と年平均降水量

2 咲子さんの班では、地方公共団体の財源に興味をもち、その歳入について調べ、東京都とA県における2017年度の歳入の内訳を示した次のグラフを作成しました。グラフ中の **X** に当てはまる、国から配分される財源の名称を書きなさい。また、A県は、歳入に占める **X** の割合が、東京都に比べて高いのはなぜだと考えられますか。その理由を、**X** が国から配分される目的に触れて、簡潔に書きなさい。



(データでみる県勢 2020年版により作成。)

3 次郎さんの班では、1999年に制定された地方分権一括法に興味をもち、なぜこの法律が制定されたのかを調べ、次の資料を見付けました。この資料は地方分権一括法に基づき、地方自治法に加えられた条文の一部を示したものです。次郎さんの班は、この資料を基に、地方分権一括法が制定された理由を下のようにまとめました。次郎さんの班のまとめの中の に当てはまる適切な内容を書きなさい。

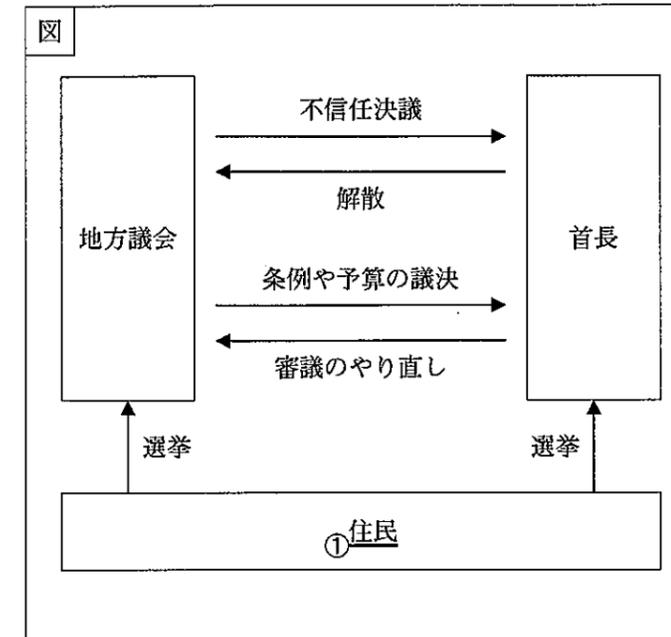
資料

国は、(略)地方公共団体との間で適切に役割を分担するとともに、地方公共団体に関する制度の策定及び施策の実施に当たって地方公共団体の自主性及び自立性が十分に発揮されるようにしなければならない。

次郎さんの班のまとめ

地方分権一括法は、国が地方の行うべき仕事に関わったり、地方が国の行うべき仕事を代わりに行ったりするような状況を改め、地方公共団体が地域の仕事を自主的に行うことができるようにするために、 ことを目指して制定された。

4 京子さんの班では、地方公共団体はどのように仕事を行っているのかについて調べ、日本の地方自治のしくみの一部を示した次の図を作成しました。下の(1)・(2)に答えなさい。



(1) 京子さんの班では、図を基に、地方議会と首長との関係について、次のようにまとめました。京子さんの班のまとめの中の に当てはまる適切な内容を書きなさい。

京子さんの班のまとめ

地方議会は、条例を制定したり、予算を決定したりしているが、首長は、これに対し審議のやり直しを求めることができる。また、地方議会は、首長が信頼できないとき、首長の不信任決議を行うことができるのに対し、首長は、議会を解散することができる。このようなしくみになっているのは、地方議会と首長の関係が、 ためである。

(2) 下線部①に関して、住民には、選挙権以外にも、条例の制定・改廃、監査、議会の解散、首長や議員の解職を求める権利が保障されています。選挙権以外のこれらの権利をまとめて何といいますか。その名称を書きなさい。

- 5 三郎さんの班では、地方公共団体の地域の活性化の取り組みについて調べ、次の資料を見付けました。この資料に示された取り組みにより、B県では、地域の活性化について、どのような成果が期待できると考えられますか。資料を基に簡潔に書きなさい。

資料

B県の取り組み

- ・伝統的な製鉄の技術を受け継ぐ世界的な企業と、加工技術で強みを有するB県の中小企業グループが、県内の大学、高等専門学校と連携した。
- ・B県の大学に研究センターを設置し、そこに世界トップクラスの研究者を迎え、航空エンジンや世界最高峰の高効率モーターに用いる先端金属素材の高度化に向けた共同研究を行い、人材を育成した。

(内閣官房ウェブページにより作成。)

- 4 ある学級の社会科の授業で、「技術革新によって自然災害における被害を小さくすることができるか」という課題を設定し、次のような話し合いを行いました。あとの1～3に答えなさい。

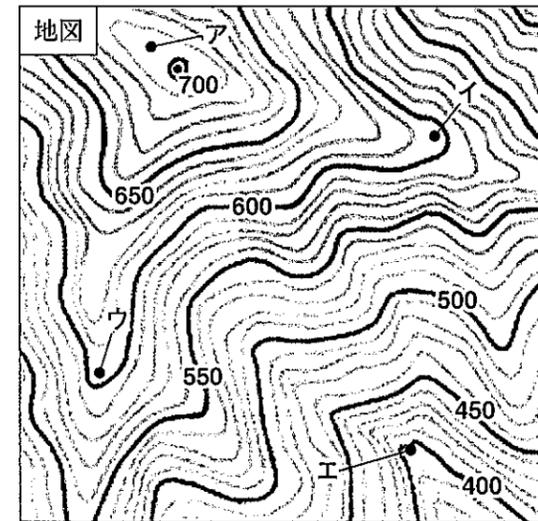
太郎：日本ではこれまで様々な自然災害が発生しているけど、①自然災害が発生しやすい危険な場所を事前に把握できれば、被害を小さくすることができるんじゃないかな。どのような取り組みがあったのかな。

咲子：②例えば、洪水などに対しては、昔からの工夫が今でも活かされているところがあるみたいだよ。昔の人々の知恵は、今を生きる私たちの生活を守るためにも重要だよ。

太郎：危険な場所の状況を把握できたら、次はその情報を的確に伝える技術も必要だよ。

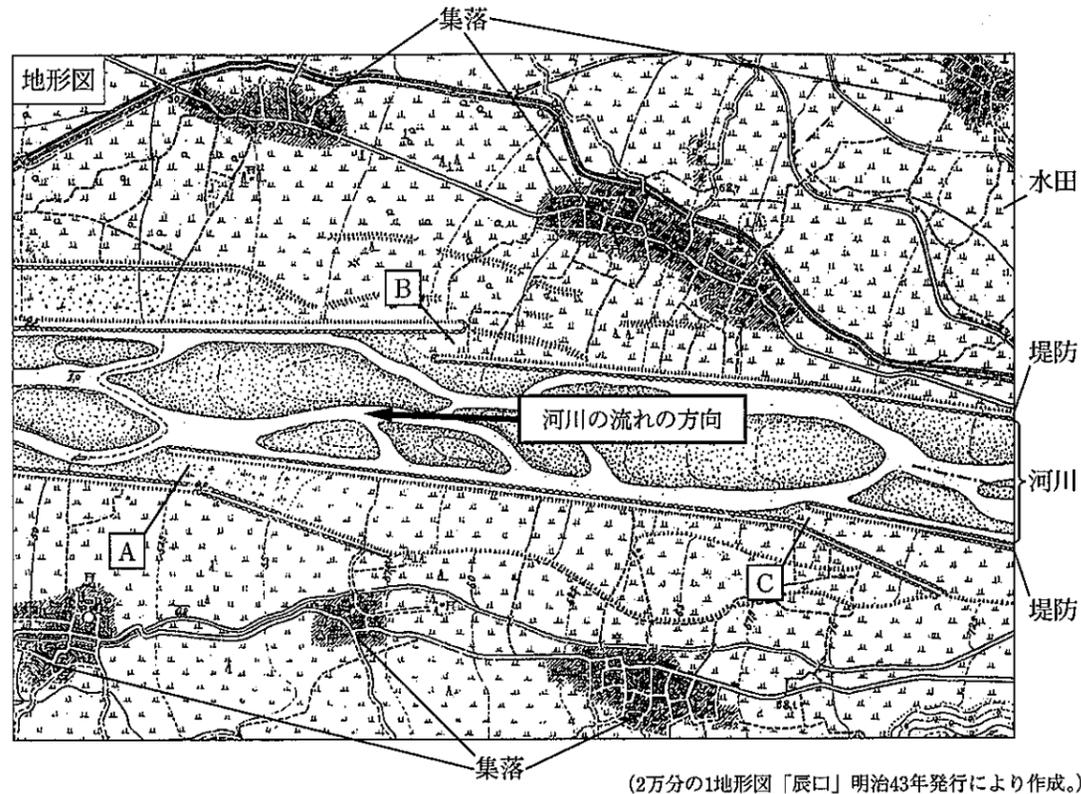
咲子：③技術革新によって危険な場所の状況を的確に把握したり、伝えたりすることができれば、自然災害における被害を小さくすることができるんじゃないかな。

- 1 下線部①に関して、太郎さんは、土石流の被害が発生しやすい地形について調べ、次の地図を見付けました。地図の範囲に大雨が降った場合、土石流の被害を受ける危険性が最も高い場所は、地図中の地点ア～エのうち、どこだと考えられますか。最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。



(国土地理院ウェブページにより作成。)

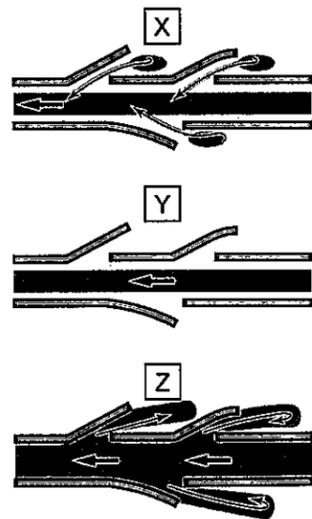
2 下線部②に関して、咲子さんは、昔の人々がどのような工夫をして洪水による被害を小さくしたかを調べ、次の地形図を見付け、これを基に下のレポートをまとめました。レポート中の[X]～[Z]の図は、「通常時」、「氾濫時」、「氾濫後」のいずれかの河川の様子について模式的に示したものです。[X]～[Z]の図を、「通常時」、「氾濫時」、「氾濫後」の順に並べるとどうなりますか。その記号を書きなさい。



咲子さんのレポート

地形図中の河川をよく見ると、地点[A]～[C]のように、堤防が切れてつながっていない部分があることが分かる。このような堤防は、中世に開発された治水の技術を利用したものである。このような工夫によって、右の図のように、「通常時」は、水は河川の外に出ず、「氾濫時」にも、複数の決まった堤防の切れ目から水を分散させてあふれさせ、下流に流れる水の流量を減少させることができる。そして、「氾濫後」には、それらの切れ目から水が河川に戻るしくみになっている。

今と違って、堤防をつくる技術が十分でなかった時代にも、現在の防災につながる工夫があったことが分かる。



(国土交通省ウェブサイトによる。)

3 下線部③に関して、太郎さんと咲子さんは、防災に活用できる技術としてスマートフォンに着目し、さらに話し合いを行いました。次の会話はそのときのものです。下の(1)・(2)に答えなさい。

太郎：スマートフォンには通話や電子メール以外にも、④写真などの情報を投稿して発信したり、自分が今いる場所や、そこから目的地までの経路を地図上に示したりすることもできるよね。スマートフォンの機能が防災にも役立つんじゃないかな。

咲子：⑤スマートフォンの機能をどのように防災に活用できるのかを考えてみようよ。技術革新によって自然災害から人々の生命を守ることができるような未来の社会がみえてきそうだね。

(1) 下線部④に関して、ある県では、自然災害が発生したとき、可能な範囲で被害状況を情報発信することを県民に協力依頼しています。次の資料は、その情報を発信する際、配慮してほしいことをその県が示したものです。この配慮によって保護される権利は、日本国憲法には直接定められていませんが、社会の変化に伴って新たに主張されてきている権利です。この権利を何といいますか。その名称を書きなさい。

資料

住宅の倒壊などを投稿する場合には、場所の表記について、個人宅名や詳細な番地は掲載せず、「〇〇町〇〇丁目」や「〇〇市役所付近」などの住所が特定されないような表現としてください。

(埼玉県ウェブサイトにより作成。)

(2) 下線部⑤に関して、咲子さんは、「大雨による自然災害が発生したとき、スマートフォンをどのように活用して安全な避難行動をとることができるか。」について考え、状況によって変化していく情報を、スマートフォンの画面に表示したハザードマップ上に示すことができれば、安全な避難行動に有効ではないかと考えました。次に示したスマートフォンの機能を参考に、自分が今いる場所から安全な場所まで避難するには、どのような情報をハザードマップ上に示せばよいと考えられますか。考えられる情報の例を二つ、簡潔に書きなさい。

〔スマートフォンの機能〕

- 1 情報の収集や発信をする機能
- 2 位置を表示する機能
- 3 経路を示し、誘導する機能

